

石垣市観光危機管理計画(仮称)図上訓練の成果

訓練実施日：令和 4 年 3 月 1 日(火)

1. 実施目的

- 石垣市では石垣市観光危機管理計画(仮称)を策定中であり、現在、石垣市観光開発審議会、石垣市観光危機管理計画(仮称)素案検討会において検討、作業を進めてきた。令和 4 年 2 月には、素案に対するパブリックコメントを実施し、令和 4 年 3 月中に同審議会が石垣市長に答申の上、策定する予定である。
- 今回の訓練は、今後の石垣市観光危機管理計画の運用に先立ち、
 - ・石垣市の観光危機管理を担う役割として新たに設置する「(仮称)石垣市観光危機対策ユニット」、「(仮称)石垣市観光危機管理プラットフォーム」について周知し、理解を高めること。
 - ・大規模地震・津波等の観光危機が発生した場面を想定し、「(仮称)石垣市観光危機対策ユニット」、「(仮称)石垣市観光危機管理プラットフォーム」の活動を試行的に体験し、求められる役割を理解すること。
 - ・石垣市の観光危機管理を担う各主体(石垣市、防災関係機関、観光関係団体、観光事業者)が、「(仮称)石垣市観光危機対策ユニット」、「(仮称)石垣市観光危機管理プラットフォーム」を通じて今後互いに連携しあう重要性を学ぶこと。を目的に訓練を実施した。

2. 実施日時

○令和 4 年 3 月 1 日(火)1330～1600

3. 実施場所

○石垣市民会館 中ホール

※今回の訓練で想定した大規模地震・津波を受けて、同計画に基づく「(仮称)石垣市観光危機対策ユニット」が市役所庁舎内に設置された場面と見立てて実施。

4. 訓練参加者

○石垣市観光危機管理計画(仮称)素案検討会の各委員が所属する観光事業者・団体のほか、事務局(石垣市観光文化課)スタッフ、外部有識者等 計 33 名

5. 訓練の方式

○ロールプレイング方式によるシナリオ非開示型の討議型図上訓練。

6. 訓練の想定

- 令和4年8月13日(土)午後1時30分、コロナ前の賑わいを取り戻した中で、石垣島近海を震源とする大規模地震(Mw=9.0)が発生。石垣市では最大震度 6 弱の揺れを観測した。
- 地震発生約 15 分後に石垣港で津波の第一波を観測、その後、最大浸水深約 15m の津波を観測した。市街地が浸水し、建物が倒壊・流失した。犠牲者や多くの避難者も発生し、居場所を失った観光客も多く発生するなど、大規模な被害に見舞われた。
- 石垣市では、石垣市地域防災計画に基づく「石垣市災害対策本部」に加えて、(仮称)石垣市観光危機管理計画に基づく「(仮称)石垣市観光危機対策ユニット」が設置された。防災関係機関では、それぞれの災害対策本部が設置され、救助活動や情報伝達を進めている。観光事業者等では、それぞれの事業者において観光危機管理本部(災害対策本部)が設置され、スタッフの安否や施設等の被害の確認のほか、観光客の安否の把握や今後の対応を検討している。
- 地震発生 3 日後、石垣市は、「(仮称)石垣市観光危機対策ユニット」において、すでに参集している一般社団法人石垣市観光交流協会とともに、「(仮称)石垣市観光危機管理プラットフォーム」の構成員等と連絡を取り合い、今後の観光客への支援や観光業の活動について検討を開始した。

7. 訓練のシナリオ

- 大規模な観光危機の発生を受けて、石垣市役所内に「(仮称)石垣市観光危機対策ユニット」が設置され、日頃からお互い顔が見える関係で活動している「(仮称)石垣市観光危機管理プラットフォーム」の構成員が参加しつつある段階から訓練を開始した。
※(仮称)石垣市観光危機管理計画では、構成員は通信による参加が想定されているが、今回は実施目的上、市役所庁舎内に参集した態勢として実施した。
- 第 1 ステージ(20 分間)は、コントローラーが現時点の被害状況等についての状況付与を行い、後ほど開催される「(仮称)石垣市観光危機対策ユニット」の初回会議において、各構成員がどのような報告を行うかについて考える場とした。
- 第 2 ステージ(65 分間)は、「(仮称)石垣市観光危機対策ユニット」の初回会議を実施し、各構成員から現時点で判明している被害状況等について互いに報告した。情報共有後、石垣市の観光産業、観光客を守るための当面の対応方針、今後の目標を会議形式で話し合い、決定した。

8. タイムスケジュール

時間	プログラム	概要
1330	1. 開会	事務局より開会する。
	2. あいさつ	観光文化課より実施目的の説明等含め、あいさつする。
1335	3. 事前説明会	
1335～1350	(1)(仮称)石垣市観光危機管理計画について	策定の背景や経緯、素案の概要を説明する。
1350～1405	(2)本日の内容について	想定や各ステージの内容、参加者に求める作業を説明する。
1405～1420	(3)危機時に求められる対応の要点について	危機時に求められる対応の要点(目標管理型対応、今回の訓練でも危機時にも必要な考え方)を近藤先生より指導する。
	休憩	
	4. 訓練	
1425～1445	(1)第 1 ステージ	状況付与をもとに報告事項を考える
1445～1550	(2)第 2 ステージ	(仮称)石垣市観光危機管理対策ユニットの会議
1550～1600	5. 講評	外部有識者より講評や今後の活動について提言を行う。
1600	6. あいさつ	石垣市観光文化課長より今回の学びや今後の活動予定等を説明し閉会のあいさつを行う。
1600	7. 閉会	

9. 訓練の実施状況

(1)開会・あいさつ・事前説明

開会



事前説明(訓練内容)



参加者状況



あいさつ



事前説明(目標管理型対応の講義)



参加者状況



(1)第1ステージ

各事業者等による話し合い

一般社団法人石垣市観光交流協会



石垣島ビーチホテルサンシャイン

一般社団法人八重山ビジターズビューロー



ホテルミヤヒラ



東運輸株式会社



株式会社かびら観光交通



八重山観光フェリー株式会社



有限会社安栄観光



日本トランスオーシャン空港株式会社



竹富町



会場全体



全日本空輸株式会社



石垣市災害対策本部



会場全体



(2)第2ステージ
開会



各事業者等からの報告・課題提起
一般社団法人石垣市観光交流協会



石垣島ビーチホテルサンシャイン



東運輸株式会社

挨拶



一般社団法人八重山ビジターズビューロー



ホテルミヤヒラ



株式会社かびら観光交通



八重山観光フェリー株式会社



有限会社安栄観光



日本トランスオーシャン空港株式会社



全日本空輸株式会社



竹富町



石垣市災害対策本部



(仮称)石垣市観光危機対策ユニット



会場全体

会場全体



(3)訓練運営

会場設営



訓練運営



10. 訓練の講評

(1) 宇都宮大学地域デザイン科学部社会基盤デザイン学科 近藤伸也准教授(目標管理型対応を講義した外部有識者の立場からの講評)

○皆さん、お疲れ様でした。訓練第2ステージで大きく盛り上がり、大変良かったと思います。

○訓練第2ステージでの皆さんからの発言で、自分の中で今でも心の中に残っているのは、2つあります。一つは、「オイルが足りない」指摘です。おそらくは「竹富町から石垣島まで運んでくるのにオイルが足りなくだろう」というものだと思います。もう一つが「空港から市街地までの道路の確保を最優先にすべきではないのか」といった発言です。道路は壊れてしまったら当然応急復旧をしなければいけませんが、どこを優先的に応急復旧させるのかというところを示したという点でとても良かったと思います。

○今回は観光危機管理に関する訓練は第1回目ということで、どのようにこの会議を進めていけばいいのか、会議の中で前提となる情報を元に自分たちのところがどういう被害を受けるのか、それをどのように、特にどの点を発言して全体を話し合ってもらいたいのか、といった点から、議論を第1ステージから第2ステージへどのように進めるのがいいのか、という企画でした。今回の訓練によって、各自の役割は訓練を始める前よりは理解が深まったのではないかと思います。

○この訓練を次回以降続ける際には、「1回目はこういう風にやった。2回目は今回と同じような状況付与を受けたが、自分たちの今後の課題はこういうところなんだ」というように、各自において課題を見据えて下さい。

○今回の訓練では、各事業者からの発言内容は、メモをとる程度の情報量で済みましたが、実際の災害時には石垣島全体の観光関連事業者を通じて、全体的に今どういうところが被害が出ていて、どういう課題があるのかということを整理することが必要になるのだと思います。従って、今回の議論を踏まえて、全員がよりわかりやすく議論できるような環境を構築していければという風に思います。

○皆さんのご発言、議論を伺っている間に、研究者の立場としても宿題がいくつか与えられたと思います。特に、災害発生3日目というのは、これまで経験上、救出救助に全力を挙げ、その後のできる限り対応をしなければいけないという形でしたが、石垣島で本当に同じような災害が発生した時に同様の状況になるのかなといったところをいかに把握しないといけないなと思っています。

○繰り返しになりますが、今回はあくまでも第1回、すべてが完璧にできるわけではありませんので、今回の議論を踏まえて次はどのように持っていくのかというところを私も考えまして、皆さんとも考えていければと思っています。私からは以上となります。

(2)訓練企画作業担当(石垣市観光危機管理計画(仮称)策定支援業務委託の業務委託先ランドブレイン株式会社からの講評)

○訓練第1ステージは、

- ・各参加者に状況付与した「現時点の状況」は、多様な内容です。それぞれの職場にとって重要情報はどれか、今後課題となることは何か、そのためにどういう方針で行動するか、それを受けてどのような作業を今後進めていくかをこれからも考えて下さい。
- ・状況付与した「現時点の状況」は、想定にすぎないものの、災害時のイメージ力の向上に役立てていただくことが可能である。各参加者においては、実際の災害時にそのような事態が回避／軽減できるよう、日頃からの対策や訓練の実施をお願いします。

○訓練第2ステージは、

- ・石垣市の観光に携わる多くの主体が課題を共有し、知恵を出し合いながら、当面目指す方針と一緒に考える場として企画しました。各参加者は、会議での発言を通じて、相互の情報共有を行い、(仮称)石垣市観光危機管理プラットフォームのつながり自体の重要性を理解できていました。
- ・各事業者からの発言には、状況付与された内容に限らず、自らの業務環境の詳細に照らした細部の検討や、自らの平常時の役割に基づいて新たな役割を担いたい申し出があり、積極的に行われていました。
- ・会議での発言では、①自所属の現状を丁寧に報告するパターンと、②今後の課題や全体への要望・アイデアを端的に提起するパターンに大別されました。今回注目した「目標管理型対応」では、後者の発言が適切です。今後も同様の訓練を継続することで、情報共有やアイデアの提起の方法のあり方について、引き続き練度を高めて下さい。
- ・今回の会議では、各参加者の発言(情報提供、課題やアイデアの提起)を通じて以下のように取りまとめられました。実際の災害時には、この会議で取りまとめた方針を受けて、各事業者等で行動すべきことを洗い出し、着実に実践する必要があります。例えば、宿泊施設は避難観光客の安否の詳細を把握して石垣市等と共有し、道路管理者は道路啓開計画に基づき作業を急ぐ等となります。今後の訓練においても、「目標を立てて、その後具体的な行動へブレークダウンしていく」考え方を繰り返し、習得して下さい。

■今回の訓練で決定した「石垣市の観光客対策の方針」

現在の課題	○津波浸水による施設や交通機関の被害が大きく、人の移動ができない状況である。 ○観光客の安否把握が十分にできていない状況である。
当面1週間の石垣市の観光客対策の方針	○観光客の安否確認を進めること ○1週間後に空港、道路、航路が再開できるよう取り組むこと ○食料等の備蓄で不足があれば石垣市災害対策本部と連絡を取ること